

# 第三次高知県子ども読書活動推進計画

【平成29年度～平成33年度】



高知県教育委員会

## 新しい時代の読書活動推進を目指して

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするなど、生きる力を身に付けるうえで、欠くことのできないものです。そして、それは大人になっても生涯にわたる学びとして、自己を高め、豊かな人間性を涵養し、その学びを社会に生かすことなどによって、人生をより豊かにすることのできるものです。

子どもは、読書活動を通じて広い世界を知り、心を動かされ、様々な生き方や考え方に接することにより、多様な価値観や幅広い教養、豊かな感性や思いやりの心などを身に付け、無限の可能性や夢を広げていくことができます。

また、社会のグローバル化、情報化の進展、地域社会の変化等が急速に進む現代においては、自ら課題を見出し、考え、判断し、表現する資質や能力を育むことが求められており、これからの子どもたちは、自主的な読書活動を通じてこうした力を伸ばし、絶えず自発的に学ぼうとする習慣を身に付けていくことが必要です。

さらに、情報通信技術の発達に伴う生活スタイルの変化など、複雑化する現代社会においては、電子書籍やスマートフォン、タブレット端末の普及が進むなど情報メディアの著しい発達・普及とともに、場所にとらわれない読書活動が可能となっています。しかし、利便性が向上している反面、子どもの読書離れや活字離れといった指摘があり、読書活動の意義や重要性を再確認することが必要です。

こうした現代社会の環境の変化を踏まえて、子どもが読書の楽しさや大切さを知り、自ら読書に親しんでいけるよう、子どもの興味・関心を尊重しながら、その成長の段階に応じた様々な分野の本との出会いや読書の機会の充実を図っていくことが必要です。そのためには、家庭・地域・学校・民間団体等が、行政や民間等の垣根を越えて一体となって整備していくことが大切だと考えます。

子どもたちが、読書活動を通じて、これからの時代を自らの力で力強く生き抜き、自らの夢に向かって羽ばたく力を育み、課題に挑戦し、日本や高知の未来を切り開く力を育てていく大人となりますよう、私たちは積極的に子どもの読書活動の推進に取り組んでまいります。

# 第三次高知県子ども読書活動推進計画 目次

はじめに

第1章 第二次計画の成果と課題	1
第二次計画基本目標及び体系図	1
基本方針Ⅰ 子どもを自主的な読書活動へいざなうために	2
1 家庭における子どもの読書活動の推進	2
2 地域における子どもの読書活動の推進	3
3 学校等における子どもの読書活動の推進	4
基本方針Ⅱ 子どもの読書活動を支える環境を整備するために	5
1 公立図書館等の機能の充実	5
2 学校図書館等の機能の充実	6
3 子どもの読書活動推進のための人材育成	7
基本方針Ⅲ 子どもの読書活動を総合的に推進するために	8
1 推進体制の確立	8
2 推進のための広報・啓発、情報の収集と提供	8
第二次高知県子ども読書活動推進計画の指標一覧	9
第2章 第三次計画の基本的な考え方	10
Ⅰ 社会情勢の変化と今後の読書活動推進の在り方	10
1 子どもの読書活動を取り巻く社会情勢の変化	10
2 今後の読書活動の推進に向けて重視すべき視点	12
Ⅱ 取組の基本的な考え方	14
1 基本目標	14
2 具体的な取組方針	15
3 施策体系図	16
4 計画期間	17
第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組	18
1 発達段階に応じた読書活動の推進	18
2 地域や人とのつながりを深める読書活動の推進	26
3 学校教育における読書活動の推進	27
4 オーテピア高知図書館による読書環境の充実・強化	30
5 子どもの読書活動を推進する人材の育成	35
【第三次計画における具体的な取組一覧】	37
【子どもの成長・発達段階に応じた読書活動の主な取組】	39
6 計画の指標及び成果目標	40
資料編	41

## はじめに

子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

本県では、子どもの読書活動の重要性から、国の「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成19年度より第一次、第二次の「高知県子ども読書活動推進計画」を策定し取組を進めてきました。

第二次高知県子ども読書活動推進計画（以下、「第二次計画」という。）では、「子どもの発達段階に応じた自主的な読書活動へのいざない」と「あらゆる機会とあらゆる場所において読書ができる環境づくり」を基本目標といたしました。その上で、高知県で育つすべての子どもに読書習慣を定着させ、読書の質を高めることで、豊かな心と感性を醸成し、考える力や表現力を身に付けるとともに、人との絆を育めるよう様々な取組を行ってきました。これまでの成果として、市町村で子どもの読書活動推進計画の策定が進んだこと、ブックスタート応援事業等の実施率が100%になったことや読書好きな子どもが増えたことなどが挙げられます。しかし、まだまだ読書を全くしない子どもがいることや各市町村の読書環境のさらなる充実などの課題も残っています。

第三次高知県子ども読書活動推進計画は、第二次計画期間における取組の成果と新たな課題を踏まえ、今後の子どもの読書活動の総合的かつ計画的な行政施策を明らかにするとともに、急速に進む情報化社会の中での、読書環境の在り方や子どもたちが身に付けるべき力など、平成29年度から5年間の子どもの読書活動の基本的方向を示すものです。

県教育委員会では、本計画に基づき、引き続き、市町村や読書関係団体等の県民の皆様と連携しながら、子どもが読書に親しむ機会の提供と環境を整備・充実するための方策に積極的に取り組んでまいりますので、関係者並びに県民の皆様のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、第三次高知県子ども読書活動推進計画の策定にあたり、高知県子ども読書活動推進協議会の委員の方々をはじめ、県民の皆様から貴重なご意見、ご提言をいただきましたことに対し、深く感謝いたします。

平成29年2月

高知県教育長 田村 壮児